

1. 本園の教育目標

幼児期にぜひ身につけて欲しい快活さ・大らかさ・のどかさ・好奇心を育て、自主的・協調性・創造性を伸ばしていく保育をキリスト教精神で行う。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価項目 | 取り組み状況 |
|----------------------------------|--|
| 幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる | 教育要領の理解を全職員で積極的に推進し、それを実際の保育に沿わせるように具体的な場面について話し合いを行っている。 |
| 教育要領、教育課程、子どもの実態などを基に考えて作成している。 | 毎年指導計画に加筆・訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするよう努めている。また、子どもの成長発達にあった保育内容となるように随時、年間指導計画の見直しを行っている。 |
| 子どもの良さを認めて評価しようとしている。 | 一人ひとりの子どもの良さや性格を保育者が認め、また園児同士がお互いを認め合うことが出来るような配慮と援助に努め、その事を保護者に伝えるようにしている。 |
| 遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。 | 自分で工夫して遊び、それが発展して友達と協力して遊ぶ事が出来る環境を準備するようにしている。 |
| 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。 | 登園から降園までの一日の流れの中で、身につけて欲しい生活習慣の習得を家庭と連携し保護者にも助言・援助を行うようにしている。また、食に対する意欲を育てるために、年間を通しての見通しを、個別で立案し職員間で経過報告や協議の時を持つようにしている。運動面においては、身体を十分に動かし遊ぶ事の出来る環境設定と、体育遊び指導で身につけた活動を日々の保育の中に取り入れて、身体の各部分の成長発達に繋げる事が出来るようにしている。散歩も取り入れて、体力向上に努め、歩くことの楽しさを知ることが出来るように努めている。 |
| 各研修会や研究会に積極的に参加する。 | 各研修会や研究会の参加して学んだ事を資料にまとめ、職員間に提供し共有化を図り、保育内容の向上に努めるようにしている。園内研修も行っている。 |
| 保護者に対して共感的な態度で接し、要望・苦情に適切な対応を図る。 | 園の方針やクラスの保育運営についての報告の場として、クラス懇談会を年に2回実施。保護者からの質問や意見をいただき改善できる面は改善するように努めている。各学期ごとに個人懇談会を実施。個々の成長や園での様子を伝え、保護者との情報を共有する時としている。必要な保護者には個別で相談や面談の時を持つようにまた、保護者からいただいた意見などは必ず園長・主任に報告し園で話し合いの時を持つようにしている。 |

4. 園の施設、設備、遊具等の安全点検

・遊具や設備および避難用滑り台については、定期的に安全を確認し、危険が予測される場合には速やかに改善するようにしている。園庭東隣のブロック塀が隣接されているビルの木の影響で傾きが生じ協議を続けてきた件に関しては、根元からの木の撤去をビル側が行い、ブロック塀の補修工事を園側が行った。

・火災・災害の発生に際して園児・職員はじめ園内の人々の安全を確保する為に、通報・安全確保・避難・保護等の方法を定期的に確認している。また、必要な備品の購入、入れ替えを定期的に行っている。

また、緊急時の保護者への迅速な連絡を行う事を目的として一斉送信システムの導入を行った。

火災や地震の避難訓練を毎月1回実施する。また、防災頭巾を園児が自ら素早く被る事が出来るようになるために、避難訓練の際に被る練習も行っている。

・2階への階段部分の雨漏りの補修工事を行った。

5. 今後取り組むべき課題

・手洗い・うがいの励行、保育室の換気などに努めながら、4月からはマスクの着脱に関してはそれぞれの判断に任せることとした。今後は表情豊かに気持ちを表現し、言葉の語彙を増やし、友達との関わりを深める取り組みを園の活動の中に取り入れていく必要がある。また、中止としていた園の行事や活動を積極的に元に戻す、又は実施できる工夫をする事で以前の運営を行う事ができるように努める必要がある。

・少子化に伴う園児数の減少に伴い、幼稚園の活動や魅力を外部へ伝える為の方法や満3歳児保育の周知に力を入れる必要がある。また園庭開放や未就園児クラスの内容をより魅力あるものへと変更・検討し、保護者が幼稚園に気軽に足を踏み入れられるような工夫が必要である。

6. 学校関係者評価委員会の評価（令和5年3月19日実施）

| 学校関係者評価委員会構成 | 元大阪狭山市立第7小学校校長 | 花澤 光正 |
|--------------|------------------|---------|
| | 学校法人堺キリスト学園理事 | 千代村 亜希子 |
| | 令和4年度開花幼稚園保護者会会長 | 加藤 諒吾 |
| | 開花幼稚園卒業生 | |

評価結果:

- 1、 評価項目についての取り組みが適切かどうか
 - ・適切であるとの評価だった
- 2、 園の施設・設備・遊具等に対する安全点検の実施が適切かどうか
 - ・適時必要な対策をとっているので適切であるとの評価だった
- 3、 自己評価の結果を踏まえた今後取り組むべき課題・改善方法が適切かどうか
 - ・園児獲得や周知については、その時々で教職員と協議し、ポスターを作成したり郵便局のタウンプラスを利用したチラシ投函などの努力を認める。今度も務めるようにと意見があった。

7. 財務状況

公認会計士より適正に処理されていると報告を受けている。